

# MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE

MPM

2018  
AUTUMN  
WINTER  
VOL.10

むさしのパークライフマガジン

YOUR PARK LIFE : Park Life × 本

FOCUS : Park & Read

祝・10号発行！バックナンバー紹介

公園からはじまる、気持ちのいい一日。

季節を感じ、ほっとできる場所。

なにもしない、贅沢な時間。

……きっと、公園で過ごす時間は暮らしを豊かにする。

私たちは、そんなことを思っ日々公園で働いています。

公園を使いこなすと、どんなライフスタイルが待っているのか。

この「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」では、

ちょっと素敵な自然のこと、

いままで気づかなかった生きものの不思議、

暮らしを豊かにする公園の使いこなし方、などなど。

公園で働く私たちだからこそお届けできる、

“パークライフ (Park Life)”の魅力をお伝えしていきます。





都立六仙公園「かたらい広場」

# Park Life


## × 本

### “そと読み”スタイル

～ 公園で読書を楽しむ、ちょっと贅沢な時間 ～

天気の良い朝や、のんびりしたい休日の午後、  
自宅にある本を一冊かばんにしのばせて、公園に出かけてみませんか？  
お気に入りの木の下にあるベンチや、日差しが心地よい芝生を見つけ、  
座ってページを開くだけで、そこに自分だけの空間が生まれます。

レジャーや散歩とは違う、新しい公園の楽しみ方を、  
「そと読み」で見つけてみてください。

A woman with dark hair tied back, wearing a dark blue patterned dress, is sitting on a white folding chair in a lush green park. She is holding an open book and looking down at it. The background is filled with large trees with green and some yellowing leaves, suggesting an autumn setting. The ground is covered in grass and fallen leaves.

日常の疲れを忘れてリラックスしたいけど、家にいると、つい携帯やパソコンを開いてしまう。そんなときは、本を一冊持って近くの公園に出かけてみましょう。ほんの2、3時間だけ頭の中をオフラインにして、緑の中でデジタル・デトックスしてみませんか？

今回は、「YOURS BOOK STORE」として、野外読書活動や、人と本をつなぐイベントを多数手がけている染谷拓郎さんに、「そと読み」の魅力や、楽しむためのポイントをお聞きしました。普段は室内で読むことの多い本を外に持ち出すことで、どんな世界が見えてくるのでしょうか？お気に入りの本とともに探してみましよう。

”  
そと読み  
“のススメ。

文 染谷拓郎

みなさんは普段、どこで本を読んでいますか？自宅のリビングや、移動中の電車、時間を潰すために立ち寄ったカフェなど、ほとんどの人が室内だと思います。でも、家にいると結局は携帯やパソコンを触ってしまうし、電車の車内やカフェは時間に限りがあります。そこでおすすめなのが、公園での「そと読み」です。

公園はとにかく自由です。大きな木の下にあるベンチに座ったり、芝生にレジャーシートを広げたり、まずはお気に入りの場所を見つけます。陽の光が紙に反射しない木陰や、芝生のすみっこ、水辺のベンチなど、落ち着くスポットを探してみましょう。周りが賑やかになってきたら、気分に合わせて場所を気軽に移動することができるのも、公園のいいところです。

風や陽の光を感じたり、鳥のさえずりを聞いたり、五感をたっぷり使って読書に没頭するのも、「そと読み」ならではの楽しみ方。春は満開の桜の下、夏は木陰や水辺、秋は落ち葉の絨毯に埋もれたベンチ、冬は木漏れ日の中で。季節によって、心地よい場所は違うでしょう。

持っていく本は、文庫本などの軽いもの、小さな短編集などがおすすめです。暮らしにまつわるエッセイのように、どこから開いても、途中で閉じても、気軽に読めるような一冊がいいですね。でも、推理小説に夢中になって、気がついたら日が暮れていたという一日があっても、贅沢かもしれません。

また、本を読むことだけではなく、道すがらで見かけた景色、その日の気候など、公園の行き帰りの体験も含めてプチレジャーとなるのが、「そと読み」です。家では得ることのできない気分転換を、本と一緒に出かけることで見つけてみましょう。





染谷拓郎 そめやたくろう

「人と本をつないでいく」をコンセプトとするブランド「YOURS BOOK STORE」のプランニング・ディレクター。野外読書活動「OUTDOOR READING」の推進や、ブックホテル「箱根本箱」の書籍部門のディレクターを務めている。



都立野川公園

## “そと読み”へ出かけてみよう。

本を選んでかばんに入れたら、公園に出かけてみましょう。お気に入りのレジャーシートや、アウトドア用の折りたたみ椅子、コーヒーを入れた水筒やお菓子など、リラックスできるグッズをお供にしてもいいですね。

また公園では、親子で楽しむことができる読み聞かせなど、本にまつわるイベントも開催しているので、チェックしてみましょう。公園の蔵書を貸し出すイベントや、武蔵国分寺公園でのレジャーシートの貸し出しなども気軽に利用して、「そと読み」を楽しんでみてください。





都立武蔵国分寺公園



都立武蔵国分寺公園



# Park Life

## × 本

## “そと読み” おすすめ本

最近買った読みかけの本、昔好きだった本。公園に持っていくのは、どんな本でもいいと思います。自然の中でリラックスしながら、気軽に読んで、帰る頃には心がちょっと満たされているようなものもいいでしょう。ここでは、武蔵野の風景を舞台にした本と、染谷さんが選ぶ「そと読み」におすすめの本をご紹介します。

### 武蔵野の風景を舞台にした本



#### 「野川」長野まゆみ（河出文庫）

武蔵野台地、河岸段丘、多摩丘陵、そして野川。新しい環境で成長していく少年のすぐ近くにはいつも武蔵野の風景があり、物語の中から、緑にあふれた野川公園や武蔵野公園の風景が目に見えてくる一冊です。



#### 「菜の花食堂のささやかな事件簿」碧野圭（だいわ文庫）

小さな食堂の料理教室をとりまく、ささやかな事件たち。謎が解けると同時に心の傷も癒やされる、優しい短編集です。物語の舞台として、武蔵野公園付近も登場。美味しそうな料理もたくさん出てきます。



#### 「今日も珈琲日和」鶴巻麻由子（東海教育研究所）

小金井市界隈で出店しているリヤカー屋台「珈琲屋台 出茶屋」の店主が、お店を持つまでの道のりを綴ったエッセイ。珈琲を中心に集まる人々のエピソードが温かく、日常を丁寧に過ごすことの大切さに気づかされます。

## 染谷さんが選ぶ、“そと読み”におすすめの本



### 「ボールのようなことば」糸井重里（ほぼ日文庫）

若い世代に向けて糸井重里さんの言葉を届けたい、という動機から生まれた文庫サイズの本。もちろん若い世代だけではなく、どんな世代にもおススメです。ベンチに座って1ページ、そしてポケットに本をつこんで、さあ歩こう。



### 「体は全部知っている」吉本ばなな（文春文庫）

休日の午前中、公園の中でお気に入りの場所を見つけて、この本を開いてみよう。13篇の短編集なので、どこから読んでもいい。心と体、自然と人間。どれもつながっていて、それが当たり前なんだと気づかされます。



### 「あるノルウェーの大工の日記」オーレ・トシュテンセン（エクスナレッジ）

え、大工の日記なんて何が面白いの？と思うでしょう。それが、読み始めたら止まらなくなるんです。屋根裏の増築を依頼された大工さん、仕事と生活を自分のスケールで丁寧に前に進めていく姿に共感します。



### 「国のない男」カート・ヴォネガット（NHK出版）

アメリカの人気作家の遺作エッセイ集。皮肉の効いたジョーク、痛烈な批判、でもその奥に見えるやさしさ。「ていねい」とか「正しさ」だけでは人は生きられない。それが身に染み込ませた大人に、ヴォネガットの言葉が沁みます。

## Park & Read パーク&リード

公園で本を読むという風景 一海外編一

海外の公園では、公園の一角に本棚を並べたり、読書会をしたりと、本にまつわるイベントが定期的開催されています。そのいくつかの事例を、ご紹介しましょう。



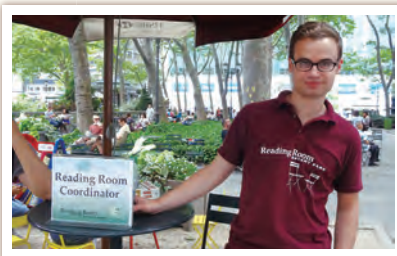
ニューヨークのブライアントパークでは、「Reading room」と名付けられた一角が公園内にあります。いくつか並ぶ本棚から好きな本を取り出して、ベンチでのんびりと読むことができます。児童書や雑誌、新聞など、種類も充実していて、本の著者を招いての朗読会なども定期的に行われています。

スイスのチャーニ市立公園では、「Park & Read」という本棚の並ぶラウンジが夏の週末に開かれています。アイスクリームやコーヒーが買える小さなケータリングサービスも近くにあり、芝生に並べられたベンチで読むことができます。

### ブライアントパーク (U.S.A・ニューヨーク市)



公園内で自由に読める本といくつかの椅子が置いてあり、好きな場所に移動して読むことができます。



Reading room のコーディネーター。その日の気分や好みなどで、オススメの本を選んでくれる。

韓国のソウル麻浦区で人気スポットとなっているのが、廃線となった鉄道線路の跡地を利用した「京義線ブックストリート」。木々に囲まれた公園の中に、様々な出版社が運営する、本をテーマにしたブースが小さな電車のように連なっていて、散歩しながら本棚を眺めることができます。週末には 3000人ほどの人が集まり、展示や講演会なども行われています。

このようなイベントはもちろん、公園のベンチや芝生に座り、ひとりで読書をしている人も海外では多く見かけます。レジャーやスポーツ、散歩だけではなく、公園の自由な楽しみ方のひとつとして、「そと読み」は浸透しています。



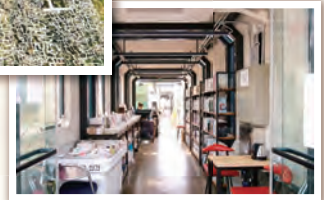
**チャーニ市立公園  
(スイス・ルガーノ市)**

朗読会や講演会、ワークショップなどのイベントも豊富。



**京義線ブックストリート  
(韓国・ソウル市)**

本をテーマにした公園で、列車型展示・販売ブースなどが並び、人気のスポット。



NEWS

**“そと読み WEEK” 12月1日(土)～9日(日) 開催!**

**むさしのカレッジ Special Program ～本の世界を歩こう～**

晩秋の野川沿いを歩き、武蔵野の地域を題材としている本や、地域の魅力的な自然環境について専門家がガイドいたします。

【講師】リュエル・スタジオ 鈴木佳子氏 × NPO birth 蜂須賀公之氏

【開催日時】2018年12月2日(日) 10:00～12:00 ※雨天中止

【対象】小学4年生以上 【定員】先着15名 【参加費】500円(保険料、資料代含む)

【集合場所】都立武蔵野公園サービスセンター前 【解散場所】都立野川公園サービスセンター

【申込先】都立武蔵野公園サービスセンター(府中市多摩町 2-24-1) TEL042-361-6861 (11月1日より受付開始)



都立野川公園サービスセンターでは、「むさしのカレッジ“そと読みを楽しむ”」を開催します！本の貸し出しを行う“そと読み WEEK”(12月1日～9日)や、ワークショップ&軽食を楽しむスペシャル DAY(12月2日)など、本を楽しむプログラムが満載です！



## MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE バックナンバー紹介

「MUSASHINO PARK-LIFE MAGAZINE」は、武蔵野の公園の魅力や楽しみ方を多くの人に知ってもらおうと2014年にスタート。今号で10号となりました。近隣のカフェや書店などにもご協力いただき、配布場所もさらに増えました。「あちこち回って全号揃えました」「大ファンでいつも楽しみにしています」など、嬉しい感想もいただいております。今後もより一層、公園の楽しさをお伝えしてまいります。

### VOL.1



特集：公園をめぐる10のこと

### VOL.2



特集：PARK-LIFE × Voice

### VOL.3



特集：PARK-LIFE × 絵本

### VOL.4



特集：PARK-LIFE × カラー

### VOL.5



特集：PARK-LIFE × はげ

### VOL.6



特集：PARK-LIFE × つくるあそび

### VOL.7



特集：PARK-LIFE × 生物多様性

### VOL.8



特集：PARK-LIFE × むかし

### VOL.9



特集：PARK-LIFE × 水

バックナンバーへのご希望にお応えし、VOL.1～9がむさしの都立公園 HP で閲覧できるようになりました。

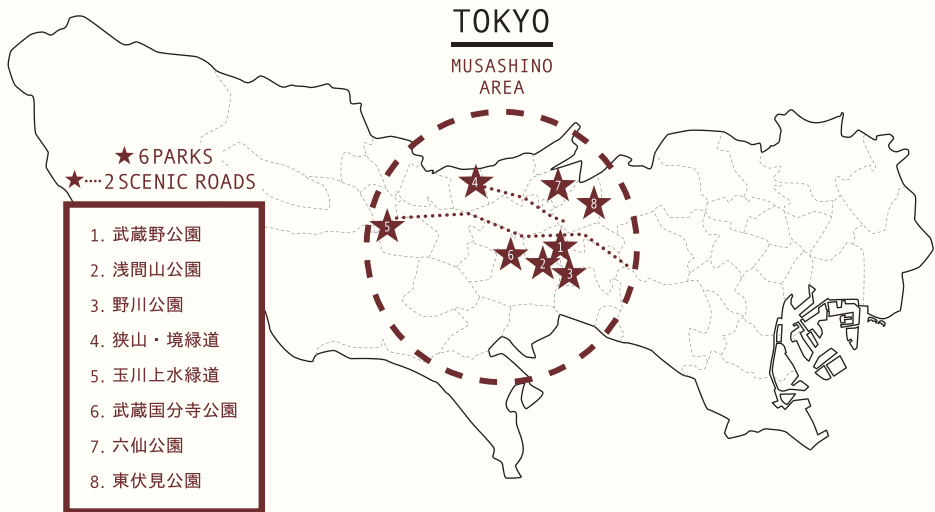
<https://musashinoparks.com/magazine/>




## 西武・武蔵野パートナーズ

武蔵野エリアにある都立公園の指定管理者「西武・武蔵野パートナーズ」は、2011年より武蔵野エリアの公園と緑道を管理してきました。2016年からは西武造園(株)・NPO法人NPO birth・ミズスポーツサービス(株)に、一般社団法人防災教育普及協会を加えた共同事業体として、新たなスタートを切りました。

「人・自然・まちが元気になる公園に」をコンセプトに、武蔵野の自然と文化を大切にしながら、さらに公園の可能性を広げるため、みなさんとともに、元気になる公園づくりをすすめます。



発行：西武・武蔵野パートナーズ TEL:0422-31-6457(都立野川公園) <http://musashinoparks.com> 

発行日：2018年11月1日

デザイン：川上明子

写真：井上茂(P4-P5、P8)・NPO法人NPObirth(P2-P3、P6-P7、P9、P12-P13)

編集・製作：西武・武蔵野パートナーズ/リュエル・スタジオLLP

印刷・製本：シナノ書籍印刷株式会社

表紙写真/都立玉川上水緑道「ヒヨドリジョウゴ」(撮影：蜂須賀公之)

MUSASHINO  
PARK-LIFE  
MAGAZINE

SEIBU・MUSASHINO PARTNERS

<http://musashinoparks.com>